

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2024

4,936点の応募から選ばれた約270作品を上映
アカデミー賞につながるオフィシャルコンペ作品も発表！

【4/25（木）から映画祭特設サイト&オンライン会場がオープン！チケット販売もスタート】

全編 生成AI映像で制作されたショートフィルムが日本初公開、
特別上映作品にはベン・ウィショーさんやレア・セドウさん主演作などが登場！
千葉雄大さん、仲里依紗さんら監督作などオフィシャルコンペノミネート作品、
韓国ショート特集、スポーツプログラムにも注目

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2024 各部門ノミネート作品および特別上映作品を本日、映画祭オフィシャルサイトに発表いたしましたのでお知らせいたします。

<https://www.shortshorts.org/2024>

今年の映画祭は6月4日（火）のオープニングセレモニーを皮切りに、6月17日（月）のアワードセレモニーまでの期間を東京の複数会場で開催。先駆けて、本日4月25日（木）からはオンライン会場もスタート、6月30日（日）までの期間、「Illuminate your life ～いのち 照らせ セカイ 照らせ」のテーマのもと、映画祭プログラマー選りすぐりのショートフィルム約270作品（コンペ以外の特別上映作品を含む）をお楽しみいただけます。

◆世界114の国と地域から集まった4,936点の中から選びぬかれた約270の上映作品発表

アカデミー賞につながるライブアクション部門のジャパンカテゴリーには、千葉雄大さん、仲里依紗さん、福士蒼汰さん、森崎ウィンさん、など俳優でありながら監督にも挑戦したショートフィルム作品が見事ノミネート

◆特別上映作品には全編生成AI作品、幻のジョン・レノンが登場『Now and Then: The Last Beatles Song』、ベン・ウィショー主演『自慢の息子』、レア・セドウ主演『家から逃れて』など日本初公開作品が登場

エイドリアン・プロディ主演『マスコット』ほか、第86回アカデミー賞外国語映画賞タイ代表『Countdown』のナタウト・ブーンピリヤ監督作品『姉妹』、フィリピンで最も興行収入をあげた『ハロー・ラブ・グッバイ』キャシー・ガルシア・サンパナ監督『運命のコイン』などアジア発の注目作も！

◆レインボー/韓国/スポーツ 今年の映画祭が特集するプログラムは…

「自分らしく生きる」LGBTQの視点が描かれるドラマの数々、大人気『Stray Kids <樂-STAR> SKZFLIX』や元U-KISSのケヴィン・ウー主演『ソウル・スイッチ』、韓国版『花より男子』ク・ヘソン監督作品など韓流熱が高まる特集、国際的なスポーツ大会の開催にちなむスポーツをモチーフに夢を追う人々を描く感動作はどれも必見

◆本日スタート！オンライン会場ではAIプログラム、レインボープログラムなど4プログラムを先行配信

応募作品の潮流を体現する、AIを使用して制作された作品の特集、LGBTQ特集、恒例となった5分以下で楽しめるVery Shortプログラム、25歳以下の新進気鋭の日本人監督作品を選出するU-25プロジェクトの4プログラムを先行配信（各プログラム5月24日（金）まで）。その後、6月1日（土）～はオフィシャルコンペ&各プログラムの配信がスタートします。

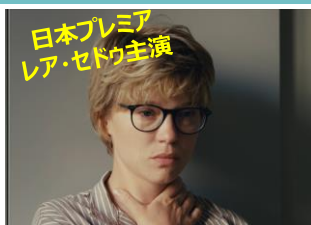
一部の賞は映画祭に向けて事前および6月4日（火）のオープニングセレモニーで発表、インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパン、アニメーション、ノンフィクションのカテゴリーからなるオフィシャルコンペティション優秀賞およびジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）は6月17日（月）のアワードセレモニーで発表いたします。

インターナショナルプログラム特別上映作品

ノンフィクションプログラム特別上映作品



『自慢の息子』監督：Tom Stuart

『家から逃れて』
監督：Malo Welfling『マスコット』
監督：Mark Middlewick『Now and Then: The Last Beatles Song』
監督：Oliver Murray

アニメーションプログラム特別上映作品

オフィシャルコンペ ジャパン/ライブアクション部門入選の注目作品

韓国ショート特集

『人間再プログラム訓練』
監督：S()fia Braga『AIしてる』
監督：藪下雷太『撮影/鎧木真一』
監督：仲里依紗『ソウル・スイッチ』
監督：LIANN KAYE

本日4月25日(木) オンライン会場で30作品 先行配信スタート!
AI特集プログラム、レインボープログラム、Very Shortsプログラム、U-25プロジェクト

※4プログラムの配信は5月24日(金)まで 6月1日(土)よりコンペ作品の配信がスタート

オンライン



AI特集プログラム

アニメーションからドキュメンタリーまでAIを活用した映画の可能性を探求



Very Shortsプログラム

5分以下の超ショート

『一瞬の記憶』(A Moment Frozen)
監督: Jack Wake-Walker / イギリス / 12:19 /
実験的 / 2023
たった一度の暴力的な瞬間の記憶に凍りつく女性

『利用規約をお読みください』(Terms and Conditions)
監督: Ursula Rudofer / アメリカ / 6:00 / Sci-Fi / 2023
ユーザーが利用規約に違反すると、AIフレンドが反逆に出る。



RAINBOWプログラム

セクシャリティやジェンダーアイデンティティだけでなくキャラクター個人の魅力にフォーカス



U-25プロジェクト

25歳以下の国内監督が対象
5分以下の作品を公募。
中学生の監督もノミネート

『王子様のジレンマ』
監督: Devin Rowe / アメリカ / 4:59 / アニメーション / 2023
自分だけの王子様と結婚することに憧れるPhilip王子。

『ガチごっこ』(Play for reals)
監督: 近藤徳佳 / 日本 / 4:58 / ドラマ / 2024
みさき、ほたる、かけるの3人は、「こども探偵団」を結成した。

東京都 × Short Shorts PROJECT

SSFF & ASIAは、東京都と連携し、「国内外の人々が東京を訪れたい」企画: 多彩な「東京」の魅力を発信するプロジェクトとして、東京をテーマにしたショートフィルムを世界から公募する「Cinematic Tokyo部門」を2016年設立。
今年も様々な「東京」が表現された作品をCinematic Tokyo部門として上映、配信。
優秀賞(東京都知事賞)を発表します。
また、日本のクリエイター支援を目的に、世界最大の短編映画祭クレルモン・フェランの共同フェスティバルディレクターと、元トライベッカ映画祭プログラマーによるクリエイターズセミナーを開催します。

Tokyo Tokyo Old meets New

Cinematic Tokyo部門上映作品(ピックアップ) ※6月1日(土)~配信開始、6月6日(木)~都内会場で上映



Cinematic Tokyo部門ノミネート作品

『Satomi』
監督: Rayner Wang / 日本 / 2024 / 11:38

東京 オンライン

※以下、東京=東京会場、
オンライン=オンライン会場

「ブレット・トレイン」のジョージナ・ポーブプロデュース
完璧なパフォーマーの素質をもっているMayumiの唯一の問題は舞台が怖いということだ。タレントショーのオーディションに失敗した後、大好きなアイドルと思いがけず出会う。そのアイドルとはなんと生きているアニメだった。20世紀末に起こるある内気な女の子の魅惑的な物語。

「Illuminate Filmmaker's Life ~世界最大級クレルモンフェラン国際短編映画祭(仏)と
トライベッカ映画祭(米)の専門家が語るショートフィルムの世界、映画祭のDX化、生成AIを含める
新しい技術による未来の映像作りの可能性」

- 日時: 6月14日(金) 15:30~17:10
- 会場: 二子玉川ライズ スタジオ & ホール
- チケット予約: 無料

<https://www.shortshorts.org/2024/event/creators-seminar/>

■トライベッカ映画祭(米国)で、過去20年以上にわたり、短編部門を統括してきたシャロン・バダル氏と、世界最大規模と言われるクレルモンフェラン国際短編映画祭(仏)の共同ディレクター、ティム・レッドフォード氏を招く、二部構成のセミナー。第一部では映画祭で求められる作品の特徴、映画祭の独自性、またレッドフォード氏も運営に関わる独自のオンライン公募システム、shortfilmdepotについて、DXがもたらす可能性について、第二部は、映画制作者が生成AIで脚本のアイデアを下書きするなど、未来の映像業界にどのような影響を及ぼす可能性があるかなどについてトーク。未来の映像クリエイター参加必須のイベントとなります!



(左) シャロン・バダル氏:
トライベッカ映画祭(米国)トライベッカ映画祭の元プログラミング
バイスプレジデント、ニューヨーク大学ティッシュ芸術学校の特講師
(右) ティム・レッドフォード氏:
クレルモンフェラン国際短編映画祭(フランス)共同ディレクター

各コンペティション、スペシャルプログラムから注目作品をご紹介します！

今年、映画祭に応募されたのは世界114の国と地域から、全4936作品！10分以下の作品が25%と短尺な作品もたくさん集まりました。特にアメリカ、日本、中国、フランス、イギリスからの応募が多く、モーリタニア、ウガンダ、セネガル、ルワンダ、コンボなど珍しい国からの応募も目立ちました。女性監督の割合は全体の4割と微増しています。戦争や震災など世界で緊張が続く中、今年は例年に比べ平和を訴える作品が印象に残ります。そんな中、重いテーマながらもあえて明るく前向きになる演出も多く見られ、暗いニュースが多い今だからこそ、映画の力で世界を、人生を明るく照らすとするクリエイターたちの熱い想いが感じられます。また、家族や人との繋がりをテーマにした作品はどの部門においても最も多かった題材の一つであり、絆の大切さを改めて考えさせられ、心動かされます。

6月1日～オンライン会場で配信/6月6日～都内会場で上映

【インターナショナルプログラム 特別上映】

東京

オンライン

ベン・ウィショー（『パフェーム ある人殺しの物語』）主演
アカデミー賞ショートリスト入りした感動ロードムービー



『自慢の息子』(Good Boy)

監督：Tom Stuart/イギリス/16:01/ドラマ/2023

銀行強盗を企んでいた主人公のDannyだが、何かと強引な母とかかりつけ医の登場でその計画はおじゃんになった。母と死んだ鳩をバンに同乗させたDannyは迫り来る絶望感に苛まれる。さらなる人物の登場でDannyの1日はほとんどと混乱していくが、どうやら全ては見かけ通りでは無いようだ。

レア・セドゥ（『アデル、ブルーは熱い色』）が母親を熱演
思春期真っ只中で見つける大切な何か



『家から逃れて』(Once Outside)

監督：Malo Welfling/フランス/15:01/ドラマ/2023

ぐうたらな青年、Ninolは言いつけを破って外出し、虐待的な父親と激しい口論となる。彼はそんな有害な環境から抜け出したいという一心で家出をするが、ある出会いを通して別の手段を見つけ出す。

【アジア インターナショナルプログラム 特別上映】

東京

オンライン

第27回タイ・アカデミー賞史上最多12部門受賞

『バッド・ジーニアス 危険な天才たち』

ナタウト・プーンピリヤ監督作品



『姉妹』(Zi Mui)

監督：Nattawut Poonpiriya/タイ/22:43/ドラマ/2023

香港の夜を舞台にした物語。父親を目覚めさせたいと願う姉妹AbbとMayは、父親の昔の恋人を探す旅に出る。性格が正反対の2人だが、その女性を見つけるため、自分たちで問題を解決する。姉妹は無事成功するだろうか？

フィリピンで最も興行収入をあげた『ハロー・ラブ・グッバイ』
キャシー・ガルシア・サンバナ監督のロマンティック・コメディ



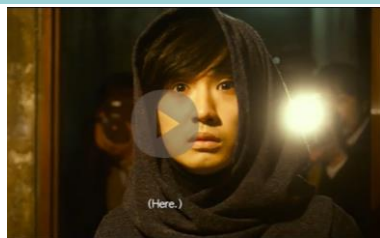
『運命のコイン』(Toss Coin)

監督：Cathy Garcia-Sampanais/フィリピン/12:18/ドラマ/2023

「Hello, Love, Goodbye」の監督が、またも最高のロマンチック・コメディを生み出した。コインを投じると、Riahは元カレと過ごした幸せな過去を思い出す。Riahはまた彼とばったり出会い、恋心を再燃させたいと願いながら、思い出の場所を巡る。Riahは彼の元に戻るのか、それとも新たな旅が始まるのか。

韓国ショートフィルム特集【ピックアップ】

東京



『スタジオ ク・ヘソン』(STUDIO KOOHYESUN)

監督：Koo Hye-sun/韓国/15:00
/音楽・ドキュメンタリー/2024

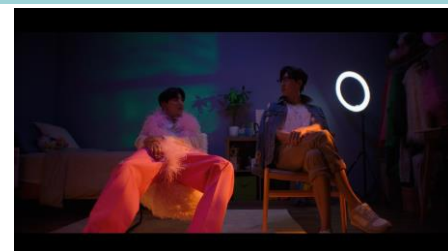
私が伝えたいストーリー、そして劇中の歌は季節の移り変わりを連想させる。



『Stray Kids <樂-STAR> SKZFLIX』

監督：BYEONGJUNE KIM/韓国/
10:51/ドラマ/2023

映画という夢のために走ってきた主人公たち。ある大学のサークルで仲間となり短編映画を製作することになるが…。



『ソウル・スイッチ』(Seoul Switch)

監督：Liann Kaye/アメリカ/12:43
/コメディ/2023

自信がない韓国系アメリカ人の男性が自分にそっくりな世界的K-POPアイドルと出会い、入れ替わることを決める。

【大注目のジャパンプログラム】日本国内241の応募作品からのノミネートおよび特別上映作品を含む25点を上映
日本の伝統文化をテーマにした作品や人との繋がりをテーマにした作品が多く集まりました。

東京

オンライン

【ジャパンプログラムノミネート作品（ピックアップ）】

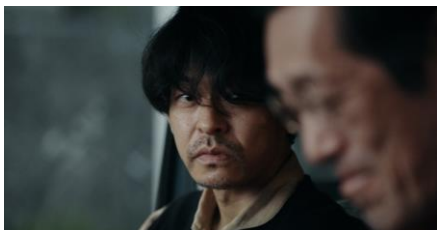


柄本時生さん主演、結婚とAIをめぐる近未来SFコメディ

『AIしてる』（AI Love You）

監督： 藪下雷太/6:55/日本/ドラマ/2023

AIの発達により高確率で人間の相性を判定できるようになった近未来、ひと組のカップルが両親の元へ結婚の挨拶に向かう。二人は効率重視の世の中に反発するように、AIの相性判定を受けないまま交際していた。その事を知った両親は…。



山中崇さん、嶋田久作さん主演、認知症の父とその思い出を巡る感動作

『TOMA2号』（TOMA#2）

監督： 長部洋平/19:55/日本/ドラマ/2023

認知症の父を施設に入れることにした燈馬は、父の部屋で現像し忘れているインスタントカメラを発見。「TOMA2号」と書かれたそのカメラには、父との記憶が詰まっていた。燈馬は記憶を蘇らせながら、父とふたり車で施設へと向かう。



福士蒼汰さんが初監督

『イツキトミワ』（Yours）

監督： 福士蒼汰/25:00/日本/ドラマ/2024

肉体労働で家計を支え、かつて美大進学を目指していた一葵は、ギャラリーで自分の作品を見つめる三羽と出会う。徐々に親密になるが、それでもとけない壁がある。満月の夜に二人は、一歩踏み込んだ話を始めるが…。

【ジャパンプログラム特別上映作品】



池田朱那、永田凜主演
第3回HOPPY HAPPY AWARD 受賞監督による
特別製作作品

『相対性長屋論』（Sotaisei Nagaya Ron）

監督： 上條 大輔/22:00/日本/ドラマ/2024

大学でも有名なお人好しの梨花と、合理的で無駄な事が嫌いな響。ある日、学生課に提出する為に入手した戸籍謄本から、両親と自身が特別養子縁組の関係性だったと知り愕然とする梨花。真相を確かめるべく、梨花と響は記載された住所を訪ねるのだが、そこには個性豊かな人々が暮らす長屋郡が連なっていて…。



国内外で注目を集めるカメレオン・ライム・ウーピーパイが監督
SXSW2024出演の模様を追ったミュージック・ドキュメンタリー

『Grooving Night (SXSW 2024 Edition)』

監督： カメレオン・ライム・ウーピーパイ/5:33/日本/ミュージックビデオ/2024

メンバー自ら企画・撮影・編集まで全てを手掛けた新曲「Grooving Night」のMUSIC VIDEOに3月に米テキサス州オースティンにて開催された『SXSW 2024』に出演した際のドキュメンタリーを加えた特別映像

第4回 TYO学生ムービーアワード金賞・銀賞受賞作品

次世代の才能の発掘と育成などを目的として開催された「TYO学生ムービーアワード」は、テレビCM・オンライン動画などを中心とした多様なコンテンツ制作の実績ノウハウを持ち、CM、映画などの映像ディレクターを数多く生み出してきた株式会社TYOが主催している学生向けのショートフィルムコンテスト。



『Brave Grandpa』

監督： 佐野 文哉/1:00/日本/コメディ/2023

老後の趣味に初めてゲームをする主人公。初心者であるが故に強くなる方法を勘違いし、違った方向へと進んでしまう。初心者から抜け出すための勘違いストーリー。



『おじさんデビュー』

監督： 楠本優/1:00/日本/コメディ/2024

最近、旦那の様子が変だ。一人称が“わし”になったり、足は悪くないのに杖を買ってきたり、突然おじさんの真似事を始めた。疑問に思う妻が問い詰め、旦那がついに打ち明けたのは、老いへの困惑であった。

【アニメーションプログラム 特別上映】

東京

オンライン

全編生成AIによる映像 + 字幕翻訳&編集もAI

『人間再プログラム訓練』(The Artificial Conjuring Circle)

監督：S(fia Braga/オーストリア/5:14/アニメーション・実験的/2023
AIによって作られた短編映画。機械の視点を探索し、「Novacene」からの憶測的なヴィジョンを作り上げる。「Novacene」とは、地球上の生命を守るために人間と非人間が協力し合う時代のこと。有機的な生命がほとんど存在しないという人為的なシナリオに浸りながら、人間を初期化（リプログラミング）する過程を目撃する。映画祭初、AI字幕にも注目！

デジタルハリウッド主催 デジタルフロンティア
グランプリ2024 ベストアニメーション賞受賞

『折紙』(Origami)

監督：金森 慧/日本/2:40/アニメーション/2024

折紙は、正方形の紙を“折る”ことで様々な姿に変身し、どんな姿になっても広げれば元の正方形に戻る。まるで土から生まれ土に還る“生命”のように、正方形の紙が様々な折紙の生き物に変形し、命が吹き込まれていく。

Z世代の3ピースインストメタルバンド
“ASTERISM” (アステリズム) のミュージックビデオ

『“PLANET OF METAL”特報』(ASTERISM × Acky Bright)

監督：GAC/日本/5:32/ミュージックビデオ/2024

世界各地で公演を行う3ピースインストメタルバンドASTERISMと、米国を中心に世界で人気を誇るイラストレーターAcky Brightによるコラボレーション。「PLANET OF METAL」というテーマでASTERISMが楽曲を、Acky Brightがイラストをそれぞれ手掛けるSFアドベンチャーの特報。

【ノンフィクションプログラム (ピックアップ)】

東京

オンライン

映像ジャーナリスト 伊藤詩織さんが監督
14歳がカメラで映し出した被災後のトルコ

『エフェ』(EFE)

監督：伊藤詩織/日本/10:23/ドキュメンタリー/2023

2023年2月6日トルコシリア大地震が発生した。14歳の男の子エフェくんにとって、死はとても近い存在になった。そしてある日、エフェくんはカメラを手にとった。彼の目線から映し出される震災後の世界とは…

【スマートフォンプログラム (ピックアップ)】

オンライン

爆撃を逃れた人々のスマートフォンの映像から制作した
緊迫のショートフィルム

『砲撃の瞬間』(Siren! Air raid alert! Head for Cover!)

監督：Lidiya Huzhva/ウクライナ/4:47/ドキュメンタリー/2023

2022年、キエフのある一日。2022年10月10日、ウクライナのキエフに対するロシアのミサイル攻撃の生存者が撮影した映像から作られた作品

【戦争と生きるカププログラム supported by 赤十字 (ピックアップ)】

東京

オンライン

世界各地では今この時でも、戦争やさまざまな暴力が多くの人の
人生を狂わせ、愛する人や平和な日常を奪っている

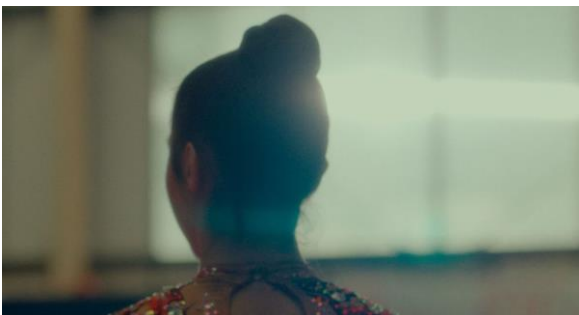
『サーシャの坂道』(Sasha's Slope)

監督：大根田良樹/日本/22:00/ドラマ/2023

坂の上にある英語教室へ通う凛は、ロシアとウクライナの紛争に関連したニュースが報道されて以降、次第に少なくなっていく生徒たちを見て不安を募らせる…。小学生とロシア人講師の小さな夏の日の物語。

SSFF & ASIA 2024のテーマを体現する作品群。命のたつとさや様々な生き方と人生、世界で暮らす私たちそれぞれの生活が描かれるドラマの数々は感動と発見をもたらします。

【スポーツプログラム (ピックアップ)】 東京 オンライン



**国際的なスポーツ大会の年！水泳、ボクシング、フェンシング、新体操、サッカー
スポーツをモチーフに映し出される人々のLIFE**

『シャドウ』(Shadow)
監督：Elahe Esmaili/ イギリス/22:36/ ドラマ/2023

イギリス在住の15歳のイラン人Hoorahは新体操の才能があり、オリンピックの出場を期待されるイングランド代表に選出された。しかし、母親は反対し、彼女の夢の実現は危うくなる。

【Shibuya Diversityプログラム (ピックアップ)】

東京 オンライン



**“ちがいをちからに変える街”渋谷発の映画祭が照らし出す
世界のダイバーシティ**

『スターチ』(Starch)
監督：Florence Rochat, Séréna Robin/
オーストラリア・アメリカ/15:33/ ドラマ/2023

インド人の若い母親は、移民として暮らすオーストラリアで家族がなんとか生活を続けられるように、訪ねてきた義理の両親から盗みを働くことを決意する。

【Women in Cinema Project (ピックアップ)】

東京 オンライン



**ジェンダー平等に取り組むフィルムメーカーたちの力作にフォーカス
女性監督だけでなく、今年は男性目線で描かれた作品も**

『希望への光』(Glimmer of Hope)
監督：Sophia Tamaro/ドイツ/5:00/ドラマ/2023

スーパーの行列に並ぶ女性たち。彼女たちは泣いている赤ん坊をあやそうと、不機嫌なレジ係の目を盗み、母国語で童謡を歌う。

【キッズプログラム (ピックアップ)】 東京 オンライン



6歳以下の子どもでも楽しめるノンダイアログ中心のキッズプログラム！

『ネコは液体』(Cats Are Liquid)
監督：Natálie Duchánková/チェコ/1:11/アニメーション/
2023

猫というものは（よくある思い込みとは違って）固体ではなく、液体であるということを実証する、思わず笑ってしまう猫らしい日常を表現。

【Curiousキッズプログラム (特別上映)】 東京 オンライン

【NEO JAPANプログラム (ピックアップ)】 東京 オンライン



好奇心旺盛で
知識欲の強い
小学生向けプログラム

期待の若手日本人
監督作品を映画祭が
セレクション！



『うつつの光、うつる夜』(The Light That Never Goes Out)
監督：鹿野 洋平/日本/19:02/ファンタジー-/2023

江戸で写し絵の興行を営む善吉は、愛妻お絹と幼い息子健坊に囲まれ、つつましくも幸せな生活を送っていた。しかし突然、お絹と健坊が川で溺れて亡くなってしまう。

『MIDORIとチーズの音楽日記』(MIDORI & Cheese's Musical Diary) 監督：五嶋節/アメリカ/10:59/アニメーション/2024

世界的バイオリニストのMIDORIがアニメで届ける音楽の旅

6月4日（火）映画祭開幕！豪華ゲストが登場するオープニングセレモニーのチケットは本日販売開始

東京会場での上映幕開けとなるオープニングセレモニーでは、映画祭代表 別所哲也と、アンバサダーのLiLiCoさんが、千葉雄大さん、福士蒼汰さん、森崎ウィンさんほか多彩なゲストを迎え、グローバルスポットライトアワード、U-25プロジェクト、J-WAVE SOUND OF CINEMA AWARD、Shibuya Diversityアワード、Amic Signアワードなど各種アワード受賞作品の発表や表彰、新作ショートフィルムなど各種プロジェクトの発表、ショートフィルム 上映を行います。（変更の可能性あり）



- 日時：2024年6月4日（火） 15:30～
- 会場：LINE CUBE SHIBUYA
- チケット販売：第一弾 4月25日（木）～5月6日（月）
第二弾 5月21日（火）～
5,000円 ※別途手数料あり

<https://l-tike.com/shortshorts2024/>

※ SSFF & ASIA のYouTubeチャンネルからもLive 配信を予定
（一部コンテンツは会場のみ）

- 登壇者/ゲスト：千葉雄大、福士蒼汰、森崎ウィン、
フェスティバルアンバサダー LiLiCo、SSFF & ASIA代表 別所哲也
（変更の可能性あり）



「ミカン下北」で屋外上映！

「下北沢」駅の高架下、ミカン下北の大階段「ダンダン」では、国際的なスポーツ大会が開催されるこの夏にちなみキュレーションした「スポーツプログラム」のショートフィルムを屋外上映！

- 日時：6月13日（木） 19:30 - 21:00
- 場所：ミカン下北（東京都世田谷区北沢2-11-15）
- チケット：<前売り> 1,000円 <当日> 1,200円
- URL <https://shortshorts2024mikan0613.peatix.com>



映画祭オフィシャルSNSナビゲーター&パートナーが決定！映画の目利きならではのおススメを紹介

映画レビューをはじめ、個性&魅力あふれる情報を紹介し活躍中のSNSインフルエンサーやメディアが映画祭のオフィシャルSNSナビゲーター&パートナーとして就任！数ある作品ラインナップの中から、おススメのショートフィルムを紹介していきます。



左より：シネマンジョン（YouTube）／ダイスケおじさん（IG）／DIZ（Twitter）／いすくりーん代表中山安美（TikTok協力）／Filmarks／Asian Movie Pulse

映画祭テーマ「Illuminate Your Life ～いのち 照らせ セカイ照らせ」をモチーフにしたプロモーションムービーのコンテストを開催中！NFT投票で選ばれた優秀作品をセレモニーで発表



Short Shorts Film Festival & Asia 2024 のロゴを下記サイトよりダウンロードし使用の上、サイトに記載の手順に沿ってご応募ください。

・20秒以内・制作年：不問・登録料：無料・賞金：10万円
クリエイターのためのプラットフォームLIFE LOG BOX内のできる投票ページでの投票と、映画祭実行委員会による審査により優秀賞が決定します。

[応募期間] 2024年3月28日（木）14:00- 2024年5月7日（火）24:00

[投票期間] 2024年5月15日（水）14:00- 2024年5月28日（火）24:00

URL: <https://lifelogbox.com/illuminate-ssff-asia-2024-movie-contest/>

BRANDED SHORTS 2024では、世界の企業や団体から集まった747本の応募作品から選ばれた10カ国、35点のノミネート作品を紹介いたします。

5月16日からは新しい未来のテレビ「ABEMA」にて、6月1日からは映画祭オンライン会場でも配信が行われ、6月10日（月）～11日（火）には赤坂インターシティにてノミネート作品の上映とトーク&セミナーイベントが行われます。6月12日（水）に同会場で開催されるセレモニーでは、国内、海外の各Branded Shorts of the Year、「デジタルと人間らしさの融合」をテーマに授与するDeloitte Digital Award、観光映像大賞 観光庁長官賞、HR部門 supported by IndeedのHR Best Short Awardの各賞の発表が行われます。また、セレモニーでは審査員による作品評をディスカッションするトークイベントも実施いたします。

URL: <https://shortshorts.org/2024/branded-short/>

東京 オンライン

BRANDED SHORTS 2024 上映・配信作品（ピックアップ）

● インターナショナル部門ノミネート作品（抜粋）



マーティン・スコセッシ
出演作品がノミネート

『Marty & Francesca Make a Website』
アメリカ / 3:51 / 2024 / 広告主: Squarespace
アメリカのウェブサイトビルダー、Squarespace。
巨匠マーティン・スコセッシとその娘フランチェスカがSquarespaceでウェブサイトを作ると一体どうなる？

● ナショナル部門ノミネート作品（抜粋）



堺雅人 出演作品が
ノミネート

『できないことは、みんなでやろう。「紅丸」篇』
日本 / 1:30 / 広告主: 丸紅株式会社
武士・敵陣・ゾンビ・怪獣が仲間になり、さらに大きなものに立ち向かう胸熱ストーリー。ファイナルファンタジーの神曲「ビッグブリッヂの死闘」や、東宝「ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃」（2001）のキングギドラ復活、大河ドラマ真田丸ともかぶる主人公堺雅人さんの赤揃えの鎧、ゾンビ、隕石のSF CGなど、さまざまな人の「好き」が詰め込まれ、「できないことを、みんなでやっている。」

● HR部門 supported by Indeed ノミネート作品（抜粋）

人事採用につなげる企業のブランデッドムービーにフォーカスするHR部門を今年もIndeed Japanがサポート



『ストレートパス』(Straight Path)
日本 / 18:40 / 広告主: 東レ株式会社
戦後のベトナム。9歳の少年ト리는、物事が整然としていることが好きだった。計画通りに進むことやまっすぐな道を進むことに喜びを感じていた。アメリカに渡った彼は、蛇口をひねるだけできれいな水が入ることに驚いた。ト리는少年の忠実な一步一步の歩みとサバイバルを乗り越えた先の大きな成功への道りを追いかける。

● 第13回観光映像大賞ノミネート作品（抜粋）



『時空 (トキ) フコエテ』
日本 / 24:51 / 広告主: 経済産業省
経済産業省「福島浜通り映像・芸術文化プロジェクト」の一環として、浜通りの撮影環境としての魅力を具体的に発信する観点から、浜通りを舞台にSF映画を作ろうとする若者と地元の女性との交流を描く。

BRANDED SHORTS 2024 セレモニー
チケット販売スタート

・日時: 2024年6月12日（水）13:30～18:00
・会場: 赤坂インターシティ The Air
・内容:
第1部 審査員トーク
第2部 作品上映、Branded Short of the Year およびデロイトデジタルアワード、観光映像大賞 観光庁長官賞、HR部門 supported by Indeed HR Best Short Awardの受賞発表と賞の授与
・料金:
第1部 2,000円
第2部 2,000円
通し券 3,000円
Peatixよりお申し込みいただけます。
URL
<https://shortshorts2024branded0612.peatix.com/>

<BRANDED SHORTSの構成>

BRANDED SHORTS OF THE YEAR インターナショナル部門	BRANDED SHORTS OF THE YEAR ナショナル部門
---	---------------------------------------

8つの視点（必然性、認識変化力、シェアブル、メッセージ、視認維持力、オリジナリティ、時代性、視認後の想起力）から、最も優れた海外の作品に贈られる賞

<p>観光映像大賞 観光庁長官賞</p> <p>日本各地で制作された観光プロモーション映像・映画・ビデオの中から、「観光振興」という観点で最も創造性、振興性、話題性に優れた作品に授与</p>	<p>HR部門 supported by Indeed HR Best Short Award</p> <p>人材採用に繋がるブランディングの観点で「バーパス」、「企業の魅力・カルチャー」、「メッセージ」、「視認維持」、「オリジナリティ」、「視認後の想起」の審査基準で、最もエンゲージメント性の高い映像へ授与する賞</p>	<p>Deloitte Digital Award</p> <p>「デジタルと人間らしさの融合」をテーマに、Purpose（存在意義）、New（新奇性）Design（デザイン性）、Human Experience（人の体験・体験価値）、Engagement（愛着）の5つの指標から特に優れた作品に授与</p>
---	---	--

BRANDED SHORTS

企業・団体のサービス・活動、ブランディングにおける顧客とのコミュニケーションを目的として制作された映像(ブランデッドムービー)にフォーカスするプロジェクト

【部門・アワードの構成】

【公募部門】

●アカデミー賞公認5部門

オフィシャルコンペティションは**ライブアクション部門**（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン）および**ノンフィクション部門**、**アニメーション部門**からなり、各部門優秀賞が翌年のアカデミー賞短編実写部門への推薦されます。

●**Cinematic Tokyo 部門** 2016年設立。様々な「東京」の魅力を発信するショートフィルムを上映。

●**スマートフォン部門** スマートフォンで撮影した25分以内のショートフィルムをオンライン会場で上映。

●**Branded Shorts部門** 国内外の企業・団体のブランディングムービーを特集。

●**U-25プロジェクト** 2019年に設立。将来有望な映像作家の国内外での活躍を応援すべく、国内の25歳までの監督が制作した作品を対象に、5分以下のショートフィルムを公募。

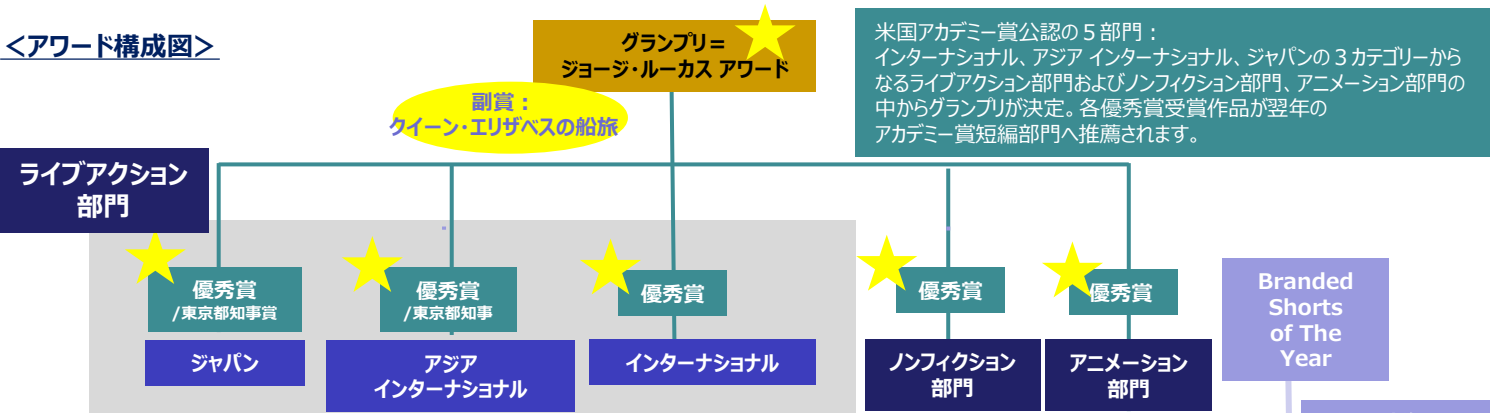
このほか、**講談社シネマクリエイターズラボ**ではショートフィルムの企画を世界公募、**BOOK SHORTSプロジェクト**では短編小説を国内公募。SSFF & ASIA 2024で各優秀賞を発表します。

6月17日（月）にアワードセレモニーが開催され、ライブアクション部門（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン）、アニメーション部門、ノンフィクション部門の各優秀賞の発表が行われます。また、ジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）作品には副賞としてクイーン・エリザベスの船旅がキュナードより贈呈されます。

また、本映画祭の開催に先駆けて、6月4日（火）には、オープニングセレモニーでも一部の賞を発表いたします。

*各セレモニーの概要につきましては別途、取材案内状をお送りさせていただきます。

＜アワード構成図＞



＜その他のコンペティション（部門）・公募プログラム＞



※コンペティション（部門）以外に、各テーマを表現した最も優秀な作品に下記アワードが贈られます。

- 地球を救え！環境大臣賞**・・・地球環境に関するテーマを描くすぐれた作品に授与
- J-WAVE SOUND OF CINEMAアワード**:音楽・歌・声・音・楽器など「サウンド」がユニークで効果的な役割を果たしている作品に授与
- HOPPY HAPPY AWARD**・・・「Be HAPPY with HOPPY」を掲げるホッピーの思いを体現するショートフィルムに授与
- Amic Signアワード**・・・「豊かな社会、コミュニティ」を表現する作品に対して授与
- オーディエンスアワード**・・・コンペティション作品の中から、各部門ごとに来場者および視聴者の投票で選ばれる観客賞
- ベストアクターアワード**・・・オフィシャルコンペティション作品の中から、優秀な俳優に贈られる賞
- グローバルスポットライトアワード**・・・世界の今を発信し新たな可能性を一映画人として切り開き、世界とつながる作品に授与
- Most Viewed Award**・・・映画祭オンライン会場で最も視聴された作品に対して贈られる賞

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2024 概要】

■映画祭代表：別所 哲也

■開催期間：6月4日（火）オープニングセレモニー 6月17日（月）アワードセレモニー
オンライン会場は4月25日（木）～6月30日（日）

■上映会場：表参道ヒルズ スペースオー、ユーロライブ、赤坂インターシティコンファレンス、
二子玉川ライズ スタジオ & ホール、ミカン下北、オンライン会場にて予定 ※開催期間は各会場によって異なります

■チケット：

●1プログラム券

<前売り> 一般 1,500円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 1,200円 小学生未満 無料

<当日> 一般 1,800円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 1,500円 小学生未満 無料

●一日券

<前売り> 一般 3,500円 学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 2,800円 /小学生未満 無料

<当日> 一般 3,800円 学生 / シニア（60歳以上） /障がい者割引 3,000円 /小学生未満 無料

●パスポート（期間中、対象の劇場のプログラムを楽しむ）

スペシャルパスポート）

<上映会パスポート>

※ミカン下北、BRANDED SHORTS以外の東京会場が対象

一般 7,000円

学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 5,500円

<上映会&オープニングセレモニーパスポート>

※ミカン下北、BRANDED SHORTS以外の東京会場

およびオープニングセレモニー対象

一般 11,500円

学生 / シニア（60歳以上） / 障がい者割引 10,000円

●その他 ミカン下北

<前売り> 1,000円

<当日> 1,200円

●オンライン会場

4/25 - 5/24 日本国内 1000円 国外 5 USD

6/1 -30日本国内 2,500円 国外15USD

■一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844

■公式サイト：

<https://www.shortshorts.org/2024>

■主催：ショートショート実行委員会 /

ショートショート アジア実行委員会



<映画祭ポスタービジュアル>

今年の映画祭テーマ「Illuminate Your Life

~いのち 照らせ セカイ 照らせ」のキーワードから

AI生成されたヴィジュアルを基に本年度のイメージを制作

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、

新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年に

アメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を

「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に

認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を

目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」

を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となり

ました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映

画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の

各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる

権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：野上・武田 TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

<https://drive.google.com/drive/folders/1cOofvZ0GnoLM7-EmsDs2aFbQTyXNrxHq?usp=sharing>